



日本語プロフィシエンシー研究会

Japanese Association of Language Proficiency

## 2016年度春合宿のご案内

### 生、生、生で迫る日本語教育

現実生活におけることばの力の向上をめざすには「生」のことば、「生」の生活及び教室場面、「生」の言語素材、「生」の日本語能力の存在は無視できません。今回の合宿では基調講演を立てないで、参加者全員がなんらかの形でこのテーマに取り組めるよう、合同のパネルにそれぞれのサブテーマを設けました。

#### <2016年度春合宿のご案内>

日時： 2017年3月25日（土）～26日（日）

場所： 里山の休日京都・烟河 〒621-0251 京都府亀岡市本梅町平松泥ヶ淵1-1

<http://www.oyadonet.com/keburikawa/index.html>

#### ▼プログラム：

##### 3月25日（土）

12:00～13:00 受付

13:00～13:10 会長挨拶 鎌田修氏（南山大学）

13:10～15:10 パネル（1）発表

- ①教育現場と生、生、生 : 嶋田和子氏、上谷崇之氏、東健太郎氏
- ②教材作成と生、生、生 : 鎌田修氏、奥野由紀子氏、金庭久美子氏、山森理恵氏
- ③ことばの決まりと生、生、生 : 定延利之氏、立部文崇氏
- ④日本語能力の評価と生、生、生 : 由井紀久子氏、坂口昌子氏

15:10～15:30 休憩

15:30～17:00 パネル（2） ワークショップ

17:10～18:15 ポスター発表

18:15～18:25 事務連絡

19:30～ 夕食

##### 3月26日（日）

9:00～10:00 パネル（3）各グループ15分ずつの成果報告

10:00～11:30 OPIブラッシュアップセッション

11:30～11:40 総括

11:40～11:55 事務連絡

11:55～12:00 閉会の辞

12:00～12:20 総会

## ▼パネルについて

下記の4つから当日参加を希望するパネルを申し込みフォームに第二希望までご記入ください。全体的な人数の都合上、必ずしも希望に添えない場合があります。

### ①教育現場と生、生、生

実践における「生の重要性」という視点から、「今、現場で起こっている課題」を取り上げます。

パネル（1）では、①教室のコミュニティ化、②教育現場と実生活とのリンク、③人・社会とのつながり、という3つのテーマに沿って実践例を示します。

パネル（2）では、グループに分かれ、現場の活性化をめざし、さまざまな角度からアイデアを考えます。多様な参加者間の対話によって「より良い明日の授業のヒント」を共有します。

### ②教材作成と生、生、生

初級後半からの学習者でも生の聞き取りが可能になるための教材作成を考えます。

パネル（1）では、生の聞き取りを可能にするための、①「文型・語彙」、②「背景情報・場面設定・関連事物」、③「聞き手ストラテジー（あいづち、聞き返しなど）」とそれらの具体例を示します。

パネル（2）では、グループに分かれ、さらに異なる切り口から生の聞き取りの足がかりになる教材作成を共に考えます。

### ③ことばの決まりと生、生、生

生のことばの規則性を考えていきます。

パネル（1）では、生のことばと瓶詰めのことばの違い、つまりことばの生きの良さ～悪さがよく現れるポイントとして「きもち」と「流ちょう性」を導きだします。

パネル（2）では、「きもち」グループと「流ちょう性」グループに分かれ、生のことばの規則性を参加者のみなさんと共に実感し、共に考えます。

### ④日本語能力の評価と生、生、生

読んだ文章を「要約」するタスクにおいて、選択問題で適切な箇所を指示することはできても、自分の言葉で言い換えることに困難を覚える学習者が多く見受けられます。

パネル（1）では、留学生が書いた要約文を提示し、評価の問題点を指摘します。

パネル（2）では、グループに分かれて、要約文の評価を暫定版のルーブリック評価票に基づいて行います。そのうえで、評価票の課題をあげ、よりよい評価票について考えます。

## ▼申込のご案内

申し込みフォームにご記入の上、本研究会のホームページ(<http://proficiency.jp/>)よりお申し込みください。申し込み確認メールとともに、費用を明記し振込先をご案内いたします。送信後1週間経っても案内のメールが届かない場合は、お問い合わせください。

全日程の参加だけでなく、研究会や懇親会（夕食）のみの参加も可能です。詳しくは下記をご覧ください。なお、宿泊は和室または洋室を1室4～5名でのご利用となります。

### 参加費用

A 全日程参加：会員、準会員、非会員すべて16000円（夕朝食、宿泊費、入湯税、研究会場費を含む）

夕食時の個々の飲み物代（フリードリンク 1300円）と懇親会後の二次会費 1500円は別途徴収いたします。

B 部分参加（研究会のみ、懇親会のみ、1日または両日の研究会と懇親会など）

（1）研究会に参加：

会員・準会員：両日 2000円、29日のみ 1500円、30日のみ 500円

非会員：両日 3000円、29日のみ 2000円、30日のみ 1000円

（2）懇親会（夕食）に参加：会員、準会員、非会員ともに5800円（飲み物代は別）

（3）懇親会なしで宿泊から参加：会員、準会員、非会員ともに12500円

C その他：一人部屋などご希望の方は別途<[gassyuku@proficiency.jp](mailto:gassyuku@proficiency.jp)>にお問い合わせください。（一人部屋ご希望の場合は、3000円の追加料金が必要です。）

※宿泊、懇親会のキャンセルの場合、間近になるとキャンセル料金がかかる場合がありますのでご注意ください。

※非会員の方へ：日本語プロフィシエンシー研究会への入会費用（会費：2000円/年。4月始まりの1年間）は合宿の費用に含まれておりません。入会ご希望の方は、お手数ですが、日本語プロフィシエンシー研究会のホームページから入会申込のお手続きをお願いいたします。合宿会場では、会費の受付はいたしかねますのでご了承くださいませ。

申込締切 3月10日（金）

振込締切 3月17日（金）

▼ポスター発表募集中！（締切：2月26日、詳細はホームページにて <http://proficiency.jp/>）

## ▼会場（里山の休日京都・烟河）へのアクセス

J R山陰本線京都駅から快速で15分、亀岡駅下車

亀岡駅北口から、シャトルバスで15分（春合宿用は11:30、12:00発）

京阪京都交通バス（園部駅西口行き）で20分、高芝下車徒歩1分

タクシーで15分